

日本土壌微生物学会 2019 年度大会

大会スケジュール

1日目 (6月15日 土曜日)			2日目 (6月16日 日曜日)		
時間	事項	場所	時間	事項	場所
8:45	受付* ポスター掲示	S11 (1階) 下記ポスター会場	8:45	口頭発表	大講堂 (4階)
10:00	ポスター発表**	S21 (2階) S31 (3階)	10:15	休憩 (ポスター撤去期限)	
12:00	昼食 評議員会	S11 (1階)	10:30	市民公開シンポジウム	大講堂 (4階)
13:30	口頭発表	大講堂 (4階)	12:00	休憩	
15:00	休憩		12:15	総会	大講堂 (4階)
15:15	大会シンポジウム	大講堂 (4階)	13:00	閉会	

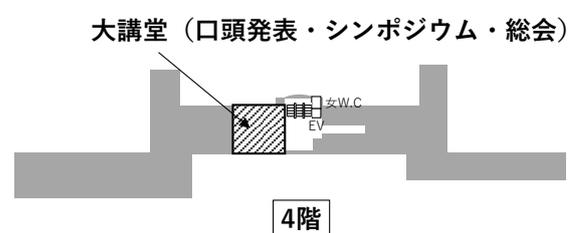
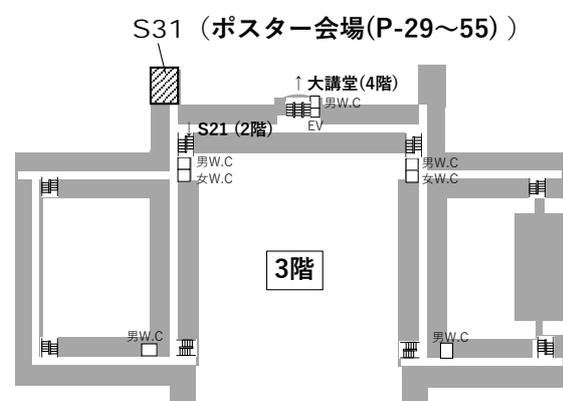
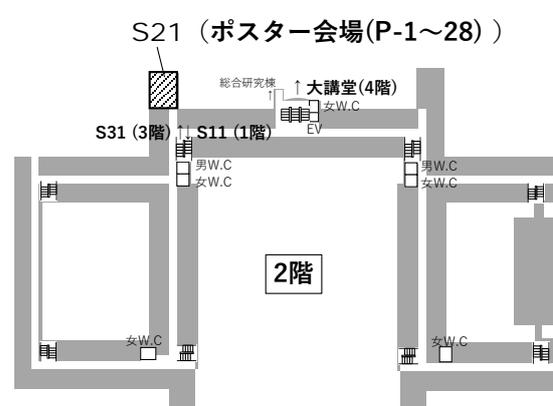
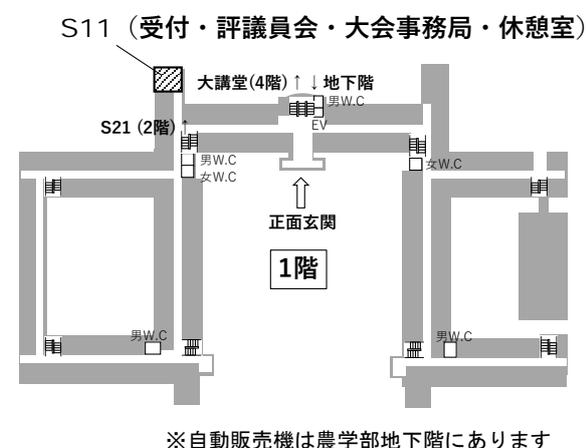
17:15 移動

18:00 情報交換会 北部食堂

* 6月15日(土) 12:00以降の受付は大講堂(4階)で行います

** ポスター会場: ポスター番号 P-1~28 (S21)、P-29~55 (S31)

会場図 (北海道大学農学部)



日本土壤微生物学会 2019 年度大会プログラム

6 月 15 日(土)

8:45～ 受付開始・ポスター掲示

一般講演(ポスター発表)

10:00～11:00 ポスター発表(奇数番号)

11:00～12:00 ポスター発表(偶数番号)

12:00～13:30 昼食休憩・評議委員会

一般講演(口頭発表)(農学部 4F 大講堂)

座長: 染谷信孝(農研機構 野菜花き研究部門)

13:30～13:45 O-1 **土壤細菌群集構造をより"直観的"に解釈するための環境間メタゲノム解析**
○美世一守, 岩崎 渉(東大院理)

13:45～14:00 O-2 ***Ralstonia solanacearum* に対する拮抗菌を検出・定量するための直接選抜培養法の確立**
○古賀夕貴, 居石優子, 龍田典子, 上野大介, 染谷 孝(佐賀大農)

14:00～14:15 O-3 ***Veronaeopsis simplex* Y34 接種トマトの根圏微生物叢の経時的モニタリング**
○野口 愛¹, 高田圭太², 橋本実佳¹, 松下紗季¹, 坂上伸生¹, 郭 永¹, 西澤智康¹, 太田寛行¹, 成澤才彦¹(¹茨大農,²茨大 iFC)

座長: 鮫島玲子(静岡大学)

14:15～14:30 O-4 **菌食性ササラダニによる農耕地土壌からの N₂O 発生削減**
○申 浩洋¹, 白鳥 豊², 太田沙由理², 増田曜子¹, 妹尾啓史^{1,3}(¹東京大学大学院農学生命科学研究科,²新潟県農業総合研究所,³東京大学微生物科学イノベーション連携研究機構)

14:30～14:45 O-5 **尾瀬ヶ原におけるニホンジカによる攪乱泥炭層の窒素固定活性と脱窒活性の検討**
重田 遥¹, 中山絹子¹, ○犬伏和之¹, 坂本 充²(¹千葉大園芸,²滋賀県立大・名古屋大)

14:45～15:00 O-6 **Rare taxa of alkaline phosphomonoesterase-harboring microorganisms mediate soil phosphorus mineralization**
Xiaomeng Wei, Zhenke Zhu, Jinshui Wu, ○Tida Ge(中国科学院亚热带生态研究所)

15:00～15:15 休憩

大会シンポジウム「土壌管理を考えるための土壌微生物研究」(農学部 4F 大講堂)

座長: 伊藤英臣(産総研)

15:15～15:45 S-1 **リン可給性をめぐる土壌微生物群集**
國頭 恭(信州大学)

15:45～16:15 S-2 **水田土壌における鉄還元菌窒素固定の発見と応用—マイクロバイオーム解析から低窒素農業へ—**
増田曜子(東京大学)

座長: 櫻井道彦(道総研 農業研究本部 中央農業試験場)

16:15～16:45 S-3 **緑肥の導入や有機栽培が土壌の有用微生物に与える影響とその利用の可能性**
唐澤敏彦(農研機構 中央農業研究センター)

16:45～17:15 S-4 **ダイズの土壌病害を抑制する微生物の分離と利用**
佐藤孝(秋田県立大学)

18:00～20:00 情報交換会(北海道大学 北部食堂)

6月16日(日)

一般講演(口頭発表)(農学部 4F 大講堂)

座長:多胡香奈子(農研機構 農業環境変動研究センター)

- 8:45~ 9:00 O-7 **水稻根に生息する微好気性鉄酸化細菌の分離**
○渡邊健史¹, 伊藤舞香², 浅川 晋¹(¹名古屋大院生命農,²名古屋大農)
- 9:00~ 9:15 O-8 **水稻根圏の細菌群集に及ぼす原生生物の影響**
永井裕也, ○村瀬 潤(名古屋大学大学院生命農学研究科)
- 9:15~ 9:30 O-9 **広域から採取した水田土壌の細菌群集構造の比較解析**
○片嶋夏菜¹, 鈴木一輝², 三木孝昭³, 徐 啓聡³, 大久保慎二³, 岩石真嗣³, 原田直樹⁴
(¹新潟大院自然研,²新潟大超域,³自然農法セ,⁴新潟大自然系)

座長:渡邊健史(名古屋大学)

- 9:30~ 9:45 O-10 **カルシウムシアナミドが土壌細菌群集に与える影響と亜酸化窒素発生抑制効果**
鈴木一輝¹, 柏 直也², 野村洸太², ○原田直樹³(¹新潟大学超域学術院,²新潟大学大学院自然科学研究科,³新潟大学自然科学系)
- 9:45~10:00 O-11 **ダイズ生育ステージによる細菌叢の変動:地上部 *Methylobacterium* 属細菌の一過的優占性**
○原 新太郎¹, 松田雅敏², 南澤 究¹(¹東北大院生命,²コンボン研)
- 10:00~10:15 O-12 **ダイズ根粒菌とメダハギ根粒菌のゲノム比較と宿主特異性: *Bradyrhizobium* 属根粒菌の共進化**
今野勇希¹, 菅原雅之¹, 大坪嘉行¹, 梶原聖也², 根本智行², 三井久幸¹, ○南澤 究¹
(¹東北大院生命,²石巻専修大理工)
- 10:15~10:30 休憩

市民公開シンポジウム「土~ダイナミックな美しき微生物の世界」(農学部 4F 大講堂)

司会:岡 紀邦(農研機構 北海道農業研究センター)

- 10:30~11:00 C-1 **土壌微生物同士の相性は情報分子のクロストーク(混信)で決まる**
橋床泰之(北海道大学)
- 11:00~11:30 C-2 **変形菌の美しさと思議**
矢島由佳(室蘭工業大学)
- 11:30~12:00 C-3 **田んぼの中の原生生物たちの暮らし**
村瀬 潤(名古屋大学)
- 12:00~12:15 休憩

12:15~13:00 総会(農学部 4F 大講堂)

一般講演(ポスター発表)プログラム

6月15日(土) 10:00~11:00 奇数番号

11:00~12:00 偶数番号

※ポスターは6月15日(土)8:45~10:00に掲示、6月16日(日)10:30までに撤去下さい。

P-1 シアノバクテリアを用いた綿花栽培における塩類土壌の理化学性、生物性の改善

○平 英敏¹, 高木理沙¹, 馬場隼也², 犬伏和之², 富樫 智^{1,3}(¹千葉大園芸、²千葉大院園芸、³OISCA 阿拉善砂漠生態研究研修センター)

P-2 分子生態学的手法を用いた植物共存細菌群遺伝子の増幅効率の向上と適応可能な栽培植物の拡大

○葛城翔平¹, 池永 誠², 境 雅夫²(¹鹿児島大学院農、²鹿児島大学学術研究院農)

P-3 「微生物による窒素の取り込みが炭素に優先する傾向であると、土壌有機物は減耗傾向になるだろう」という予想

○池田順一(農研機構 中央農研)

P-4 土壌培養におけるモデル糸状菌 *Aspergillus nidulans* のトランスクリプトーム解析

○高田万里奈^{1,2}, 河内護之³, 大西康夫^{3,4}, 妹尾啓史^{3,4}, 清水公德², 浦山俊一^{1,5}, 萩原大祐^{1,5}(¹筑波大学生命環境系、²東京理科大学基礎工学部、³東京大学大学院農学生命科学研究科、⁴東京大学微生物科学イノベーション連携研究機構、⁵筑波大学微生物サステイナビリティ研究センター)

P-5 *Mortierella* 属糸状菌に内生する *Mycoavidus* 属細菌のゲノム縮小化

郭 永¹, 高島勇介¹, Dilruba Sharmin¹, 佐藤嘉則², 成澤才彦¹, 太田寛行¹, 西澤智康¹(¹茨大農,²東文研保存)

P-6 土壌細菌 *Pseudomonas chlororaphis* の亜種間比較ゲノム解析

○染谷信孝¹, 諸星知広²(¹農研機構野菜花き,²宇都宮大学大学院)

P-7 Comparative metagenomic insights into functional diversification of soil microbiome across a vegetation gradient on the deforested land around Komado wetland

Yong Guo, Yusuke Takashima, 西澤智康, Kazuhiko Narisawa, Tomoyasu Nishizawa(茨大農)

P-8 イネ科カバークロップ-不耕起栽培畑地土壌の耐水性団粒構造と微生物叢の解析

○阿蘇日和¹, 中根麻冴美¹, 荒木 肇², 小松崎将一¹, 太田寛行¹, 西澤智康¹(¹茨大院農,²北大北方生物圏セ)

P-9 Effect of protists on bacterial community structure and mineralization of biochar

○Asiloglu Rasi¹, Bahar Sevilir³, Samuel Oloruntopa Solomon², Akca Muhittin Onur³, Kazuki Suzuki⁴, Turgay Oguz Can³, and Naoki Harada²(¹Faculty of Agriculture, Niigata University, ²Graduate School of Science and Technology, Niigata University, ³Faculty of Agriculture, Ankara University, Turkey)

P-10 Prevalence of antibiotic resistant genes in soils of animal farms in Uganda

○Andre Freire Cruz¹, Steven Kakooza², Edward Wampande², Torahiko Okubo³, Sayaka Tsuchida^{1,4}, Kazunari Ushida^{1,4}(¹Graduate School of Life and Environmental Sciences, Kyoto Prefectural University, ²College of Veterinary Medicine Animal Resources and Biosecurity, Makerere University, Uganda, ³Faculty of Health Sciences, Department of Medical Laboratory Science, Hokkaido University, ⁴Academy of Emerging Sciences, Chubu University)

P-11 A comparison of soil bacterial diversities under the applications of pyrolytic and hydrothermal biochars derived from different waste materials

○Bahar Sevilir¹, Kazuki Suzuki², Yusuf Osman Donar³, Ali Sinag³, Oguz Can Turgay¹, Naoki Harada⁴(¹Faculty of Agriculture, Department of Soil Science and Plant Nutrition, Ankara University, Turkey, ²Institute for Research Promotion, Niigata University, ³Faculty of Science, Department of Chemistry, Ankara University, Turkey, ⁴Institute of Science and Technology, Niigata University)

- P-12 Succession of Betaproteobacteria in the 2010 volcanic deposits of Mt. Merapi, Indonesia**
 ○Annisa N. Lathifah^{1,2}, Yong Guo², Nobuo Sakagami², Wataru Suda³, Masanobu Higuchi⁴, Tomoyasu Nishizawa², Irfan D. Prijambada⁵, Hiroyuki Ohta^{1,2} (¹Tokyo University of Agriculture and Technology, ²Ibaraki University, ³Graduate School of Frontier Science, The University of Tokyo, ⁴National Museum of Nature and Science, ⁵University of Gadjah Mada)
- P-13 Integrative Analysis of Denitrifier Community Harbored in *Miscanthus* Rhizosphere, a Pioneer Grass on Miyake-jima Volcanic Deposits, Japan**
 ○Ahmad Arsyadi, Akiko Ebihara, Yong Guo, Nobuo Sakagami, Hiroyuki Ohta, Tomoyasu Nishizawa (Graduate School of Agriculture, Ibaraki University)
- P-14 テトラサイクリン耐性乳酸菌と薬剤を添加した土壌マイクロコズムにおける微生物群集の動態解析**
 ○矢用もも, 西澤智康(茨大院農)
- P-15 農地の保安全管理下における土壌生物群集構造の特徴**
 ○金子信博, 木村純平(福島大学食農学類)
- P-16 間断灌漑が土壌中カドミウム形態および微生物群集活性に及ぼす影響**
 ○永井健太郎, 墨 泰孝(中部大応生)
- P-17 火熱攪乱による森林土壌微生物群集の応答と回復**
 ○笠原康裕¹, 高橋一弘¹, 小椋義俊², 森本 一³, 三木 健⁴, 新井大輔⁵, Larry Lopez⁵, 林 哲也², 佐藤雅志⁶ (¹北海道大低温研,²九州大医,³(株)北海道システムサイエンス,⁴龍谷大理工,⁵山形大農,⁶東北大農)
- P-18 環境ストレスを与えた圃場におけるフザリウム属菌 *nit* 変異株の生残性の解析**
 ○星 光輝¹, 橋本知義², 西澤智康¹ (¹茨城大,²農研機構 中央農研)
- P-19 Tracking changes over time in soil microbes after organic amendments in agricultural soils in Zambia**
 ○Toru Hamamoto¹, Nhamo Nhamo², David Chikoye³, Yoshitaka Uchida¹ (¹北大農院,²ZOU Zimbabwe,³IITA Zambia)
- P-20 CDU 分解菌の CDU 分解酵素の生産特性について**
 ○横山和平¹, 下問希望², 前田夏実², 坂本 淳³ (¹山口大院創成科学,²山口大農,³ジェイカムアグリ(株))
- P-21 土壌圏最大微生物ダークマター「アシドバクテリア」の単離培養と生態解析**
 ○河野圭丞¹, Zhenxing Xu², 増田曜子², 白鳥 豊³, 妹尾啓史², 伊藤英臣⁴ (¹東海大学生物学部海洋生物科学科,²東京大学大学院農学生命科学研究科,³新潟県農業総合研究所,⁴産業技術総合研究所生物プロセス研究部門)
- P-22 根圏土壌から単離した新規 *Steroidobacter* 属細菌の特性解析と同定に関する研究**
 ○池永 誠¹, 片岡真千², 室内 彩³, 境 雅夫¹ (¹鹿児島大農学系,²鹿児島大農,³鹿児島大院農)
- P-23 Phylogenetic Diversity of Bacterial Community in a Gray Solar Saltern and Isolation of Extremely Halophilic Bacteria Using Culturomics Methods**
 ○Cho Geon-Yeong, Kyung-Sook Whang (Department of Microbial & Nano Materials, Mokwon University, Korea)
- P-24 Characterization of competition for nutrients in the biocontrol of tomato bacterial wilt by *Mitsuaria* sp. TWR114 and *Ralstonia* sp. TCR112**
 Wu, R.¹, Marian, M.¹, Koyama, H.¹, Suga, H.², Kageyama, K.³, Shimizu, M.¹ (¹Faculty Appl. Biol. Sci., Gifu Univ., ²Life Sci. Res. Center, Gifu Univ. ³River Basin Res. Center, Gifu Univ.)
- P-25 LAMP 法を用いたエンドウ萎凋病菌の特異識別および汚染土壌からの検出**
 ○小寺俊丞¹, 菱池政志², 小松 健^{1,3}, 有江 力^{1,3} (¹農工大院連農,²和歌山県農試,³農工大 GIR)

- P-26 The potential of dark septate endophytic fungal isolates to promotes a strawberry growth and controls Fusarium wilt disease**
 ○Wiwiek Harsonowati¹, Kazuhiko Narisawa² (¹Tokyo University of Agriculture and Technology, ²Faculty of Agriculture, Ibaraki University)
- P-27 拮抗菌の動態を考慮した野草堆肥製造法の最適化**
 ○龍田典子, 杉谷亮輔, 古賀夕貴, 上野大介, 染谷 孝(佐賀大農)
- P-28 ライグラス類の種子発芽に影響を及ぼす糸状菌の検討**
 ○菅原幸哉¹, 清 多佳子², 内山和宏², 上山泰史², 小坂橋基夫¹ (¹農研機構 中央農業研究センター, ²農研機構 畜産研究部門)
- P-29 白紋羽病発病抑止土壌の作製と抑止機構に関与する複数糸状菌種の特定**
 ○高橋真秀¹, 中村 仁² (¹千葉農林総, ²農研機構果樹茶)
- P-30 代かきを伴う土壌還元消毒によるフザリウム菌密度低減の検討**
 ○清水佐知子¹, 國田丙午¹, 隅廣文彬², 武藤安己余³ (¹広島県立総合技術研究所農業技術センター, ²元北部農業技術指導所, ³アグロカネシヨウ(株))
- P-31 レタス黒根病菌に対する土壌還元消毒の効果**
 ○中根 麗, 宇佐見俊行(千葉大学大学院園芸学研究科)
- P-32 γ-グルタミル-S-アシルシステイン添加によるフザリウム病抑止土壌化**
 ○西岡友樹¹, 高橋俊行², 森田明雄³, 須賀晴久⁴, 清水将文⁵ (¹産業技術総合研究所, ²イビデンエンジニアリング, ³静岡大農, ⁴岐大科基セ, ⁵岐大応生)
- P-33 微生物燃料電池の設置が水田からのメタン放出に与える影響**
 平 英樹, 芦川 基, ○加来伸夫, 上木厚子, 上木勝司(山形大学農食科)
- P-34 水田生態系から分離されたメタン酸化細菌の亜酸化窒素生成能**
 Mohammad Saiful Alam^{1,3}, Joseph Benewindé Sawadogo^{2,3}, ○浅川 晋³ (¹Bangabandhu Sheikh Mujibur Rahman Agricultural University, Bangladesh, ²Nazi Boni University, Burkina Faso, ³名古屋大学大学院生命農学研究科)
- P-35 Core Bacterial Community in Rice Paddy Soils by Phylogroup – Independent Searching Approach**
 ○Lee Hyo-Jin¹, Geon-Yeong Cho², Kyung-Sook Whang^{1,2} (¹Istitute of Microbial Ecology & Resources, Mokwon University, Korea, ²Department of Microbial & Nano Materials, Mokwon University, Korea)
- P-36 有機肥料と各種資材が水田土壌中の温室効果ガスに及ぼす影響**
 ○李 倩, 長澤 崇, 谷道琢朗, 犬伏和之(千葉大学園芸学研究科)
- P-37 堆肥製造過程でのアンモニア菌 *Coprinopsis cinerea* の接種が窒素成分の改善と施肥土壌での窒素可給性に及ぼす効果**
 ○立石貴浩, 刈屋静穂, 前田武己(岩手大農)
- P-38 もう一つの温室効果ガス発生源—作物残さに由来する一酸化二窒素の発生とその原因微生物の解析**
 ○多胡香奈子¹, 徳田進一¹, 郭 永², 黒岩 恵³, 中村知喬³, 西澤智康², 諏訪裕一³, 早津雅仁¹ (¹農研機構, ²茨城大学, ³中央大学)
- P-39 窒素固定能を有する脱窒細菌による N₂O 固定**
 鈴木里俊¹, 早川智恵¹, 増田曜子¹, 西澤智康², 菅原雅之³, 南澤 究³, 磯部一夫¹, ○妹尾啓史^{1,4} (¹東大院農, ²茨大農, ³東北大院生命, ⁴東大微生物連携機構)
- P-40 子嚢菌による従属栄養硝化**
 ○金田悠太郎, 藤原健智(静岡大学大学院総合科学技術研究科 理学専攻)

- P-41 強酸性茶園土壌由来の完全硝化菌を含む集積培養微生物群集のメタゲノム解析**
 多胡香奈子¹, 王 勇¹, 高橋 悠², 藤谷博嗣², 廣野祐平³, 常田 聡², ○早津雅仁¹(¹農研機構 農業環境変動研究センター,²早稲田大学大学院・先進理工学部,³農研機構 果樹茶業研究部門)
- P-42 ダイズ根粒菌脱窒能欠損株のゲノム解析**
 篠原一輝¹, 森内良太², 城 惣吉³, 佐伯雄一⁴, ○鮫島玲子⁵(¹静岡大学総合科学技術研究科農学専攻,²静岡大学グリーン科学技術研究所研究支援室ゲノム機能解析部,³島根大学学術研究院農生命科学系科,⁴宮崎大学農学部応用生物科学科,⁵静岡大学学術院農学領域)
- P-43 南西諸島の海岸に自生するハマササゲより単離した根粒菌の多様性と耐塩性について**
 ○馬場(笠井)晶子¹, 横山 正², 友岡憲彦¹(¹農研機構 遺伝資源センター,²東京農工大学大学院農学研究院)
- P-44 ダイズ根粒菌の根粒窒素固定活性の菌種間差異について その2**
 ○前川富也(農研機構 中央農業研究センター)
- P-45 根粒菌共生アイランドの大規模欠失と土壌環境適応**
 ○嵐田 遥, 大竹 遥, 菅原雅之, 三井久幸, 南澤 究(東北大院生命)
- P-46 ダイズに着生した根粒菌のNGSを用いた解析**
 ○竹下美保子¹, 和田卓也¹, 荒木雅登², 樋口俊輔¹, 持永 亮¹, 佐伯雄一³(¹福岡県農林業総合試験場,²福岡県農林業総合試験場筑後分場,³宮崎大学)
- P-47 耕起法およびリン酸施肥レベルの違いがトウモロコシ根に感染するアーバスキュラー菌根菌の群集構造に及ぼす影響**
 ○立脇祐哉¹, 肥後昌男², 川村佳大¹, 中村航也¹, 磯部勝孝²(¹日本大学大学院生物資源科学研究科,²日本大学生物資源科学部)
- P-48 MiSeq を用いたアーバスキュラー菌根菌群集構造解析に適したプライマーペアの検討**
 ○高橋康平¹, 鈴木一輝², 原田直樹³(¹新潟大院自然研,²新潟大超域,³新潟大自然研)
- P-49 十勝地方のダイズ畑における AM 菌感染・土壌養分と初期生育の関係**
 ○長岡一成¹, 森本 晶¹, 大友 量^{1,2}, 岡 紀邦¹, 中村卓司¹(¹農研機構 北農研,²現・農研機構 中央農研)
- P-50 道央の水田輪作体系における作土中のアーバスキュラー菌根菌の動態**
 ○大友 量¹, 森本 晶², 長岡一成², 川原善浩^{3,4}, 岡 紀邦²(¹農研機構 中央農研,²農研機構 北海道農研,³農研機構 次世代作物開発研究センター,⁴農研機構 高度解析センター)
- P-51 高温および有機態窒素条件における *Mortierella humilis* とその内生細菌がトマト生育に及ぼす影響**
 ○松下紗季, 高島勇介, 西澤智康, 太田寛行, 成澤才彦(茨大農)
- P-52 Isolation and characterization of endophytic microbes associated with the pioneer grass colonizing on the recent volcanic deposits in the island of Miyake, Japan**
 ○孫 寒¹, 西澤智康², 成澤才彦², 太田寛行²(¹東京農工大学連合農学研究科,²茨城大学)
- P-53 根部エンドファイト *Veronaepsis simplex* Y34 の内外生細菌 *Rhizobium pusense* Y9 およびその近縁種が宿主菌類に及ぼす影響**
 ○橋本実佳, 郭 永, 西澤智康, 成澤才彦(茨大農)
- P-54 ストレス条件下において根部エンドファイト *Veronaepsis simplex* Y34 がエンドウ生育に及ぼす影響**
 ○山崎亜耶乃, 成澤才彦(茨大院農)
- P-55 従属栄養性原生生物による PGPR のイネ(*Oryza sativa* L.) 生育促進効果の向上**
 ○白石景子¹, アシルオグル ラシット², Oguz Can Turgay³, 鈴木一輝⁴, 村瀬 潤⁵, 原田直樹¹(¹新潟大学大学院自然科学研究科,²新潟大学農学部,³アンカラ大学農学部,⁴新潟大学研究推進機構超域学術院,⁵名古屋大学大学院生命農学研究科)

大会事務局からの連絡事項

○ 一般講演（口頭発表）の方

- ・講演時間は12分、質疑3分です。
- ・大会で準備するPCをご利用下さい（Windows10 PowerPoint2016）。発表ファイルはCDまたはUSBで持参頂き、事前に設置しているPCにコピーして下さい（下記参照）。ウイルス感染防止のため、持参するファイルは、必ず事前にウイルスチェックをして頂くようお願いいたします。
- ・発表ファイルのPCへのコピー・動作確認：会場の係員にお申し出の上、下記時間帯を目安に行ってください。

1日目（6月15日（土））：8:45～12:00（1階S11教室）、12:30～13:30（4階大講堂）

2日目（6月16日（日））：8:00～ 8:45（4階大講堂）

○ 一般講演（ポスター発表）の方

- ・ポスターはA0サイズ（幅841mm×高さ1189mm）以内で作成下さい。掲示用の画鋏等は会場に用意致します。
- ・ポスターは6月15日（土）8:45～10:00に掲示、16日（日）10:30までに撤去して下さい。
- ・奇数・偶数番号の各発表時間に、ポスターの前で説明をお願い致します。
- ・最優秀・優秀ポスター賞：受賞者には6月15日（土）18:00からの情報交換会で賞状を授与致します。また、学会ホームページおよび学会誌に受賞者の氏名と所属、演題を公表します。

会場へのアクセス

アクセスの詳細は北大学農学部サイト <https://www.agr.hokudai.ac.jp/i/access> をご覧ください。新千歳空港から札幌駅までの所要時間はJR快速エアポートで36分、高速バスで約70分です。また、札幌駅から農学部までは約1km（徒歩で約15分）になります。

札幌駅からのアクセスマップ



